

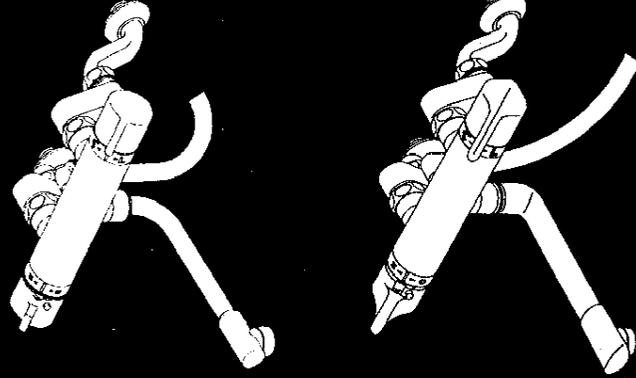
取替用サーモスタット シヤワー金具

TOTO

取扱説明書

■このたびはTOTOサーモスタットシヤワー金具をお求めいただきました。ごまことにありがとうございます。この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■この説明書は、保証書とともに大切に保存しておいてください。



もくじ

安全上の注意	1～3
使用上の注意	3～4
温度調節のしかた	4
特長・各部のなまえ	5～6
つかいかた	7
凍結予防のしかた	8
手入れのしかた	8～9
故障したときは	10

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ



0120-03-1010

受付時間 9:00～17:30 (土・日・祝日を除く)

本社 〒802-8601 北九州市小倉北区中島2-1-1……………ビル電話受付台(093)951-2111 '97.12
08227

'98.2.05

再生紙を使用しています。

安全のために必ずお守りください

ご使用前の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- この説明書では、機器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。



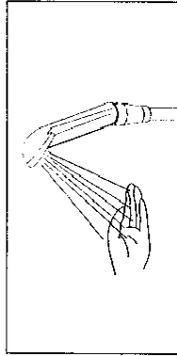
⚠ 注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性を示しています。

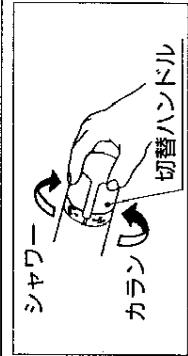
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。

⚠ 注意

- (1) シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。(シャワー付)



- (2) お使いになる前に、カラン側かシャワー側かを切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。カラン吐水を間違えると、やけどをするおそれがあります。(シャワー付)



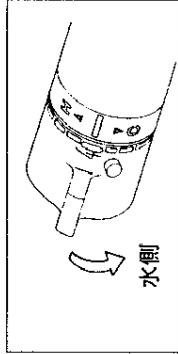
- (3) 湯側止水栓及びソケット部は給湯側のため高温になっています。高温部の表面に直接肌を触れないようにしてください。やけどをするおそれがあります。



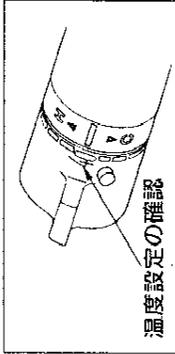
- (4) 使用後は必ず温度調節ハンドルの目盛を40℃以下に戻しておいてください。次に使用すると、いきなり高温の湯を浴び、やけどをするおそれがあります。



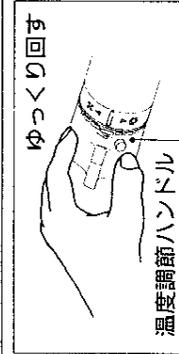
- (5) 高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。水栓内に滞留した高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



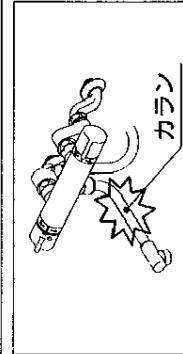
- (6) ハンドルの温度位置を確かめた後、吐水してください。高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



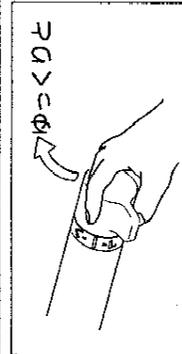
- (7) 温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので温度調節ハンドルは、ゆっくり回してください。やけどをするおそれがあります。



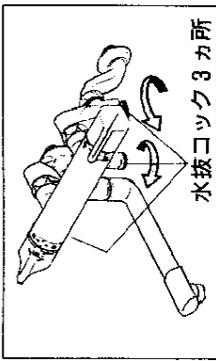
- (8) 熱湯をお使いのときには、カランは高温になっています。直接肌を触れないでください。やけどをするおそれがあります。(カラン付)



- (9) ハンドルを急閉止させると、配管から漏水を起こすおそれがありますので、ゆっくり操作してください。漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



(10) 凍結が予想される際は、配管の水抜き操作と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)



(11) 水栓金具に無理な力を加えないでください。取付脚や配管が破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

使用上の注意

凍結すると少しの間吐水しません (寒冷地用の場合)



凍結した場合、ぬるま湯であたためてください。

目盛どおりのお湯が出るか、確認してください。
(P.4 温度調節のしかたを参照ください。)

給湯機が瞬間型の場合

1. 吐水量が少ないと給湯機が着火しないことがありますので、ハンドルはできるだけ全開でご使用ください。
2. 給水圧力が高く、吐水量が多すぎる場合は切替ハンドルで調節を行ってください。(切替ハンドルを全開にすると吐水量が多すぎると吐水が止まらなくなる場合があります。)

3. 混合水栓から吐水する温度より、10℃以上高い温水を供給するよう給湯機側の温度を設定してください。

4. 次の場合は、給湯機が着火しにくくなる場合があります。その場合は、給湯機の設定温度 (能力切替式の場合は能力) を少し下げてください。

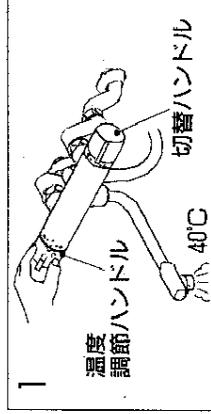
- 給水圧力が低いとき
- 水温が高いとき

温度調節のしかた

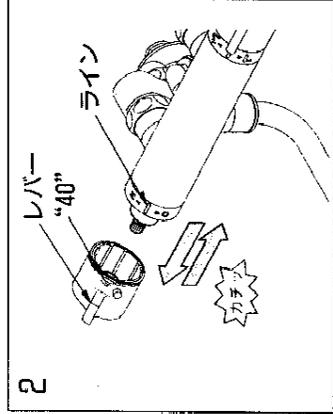
● 温度調節ハンドルの目盛どおりの湯が出ない場合は、次の要領で温度調節をしてください。

調節する前に

- 止水栓を全開しているか確かめてください。
- ストレーナーのごみまわりはないか確かめてください。
- 常用給湯温度 (50℃以上) の湯がきているか確かめてください。



目盛に関係なく40℃の湯が出る位置まで回してください。



目盛の“40”の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルを“カチッ”と音がするまで押込んでください。

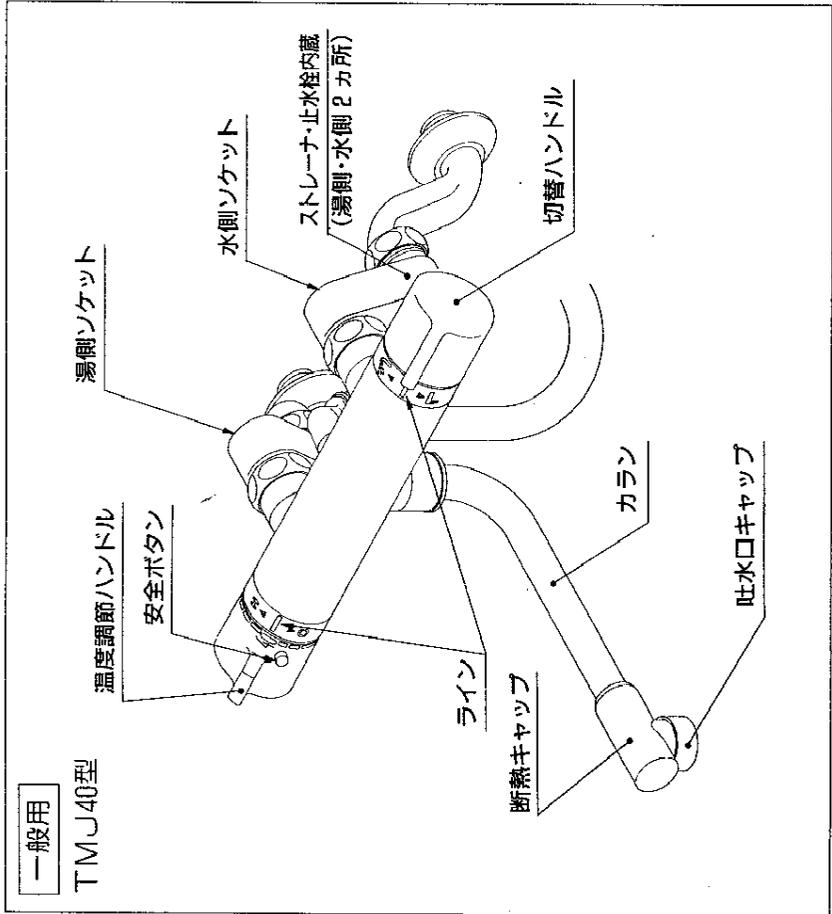
※ハンドルは「はめ込式」のため、強く引くと抜けます。抜けない場合は、レバーに傷が付かないように軽くたいてください。

特長・各部のなまえ

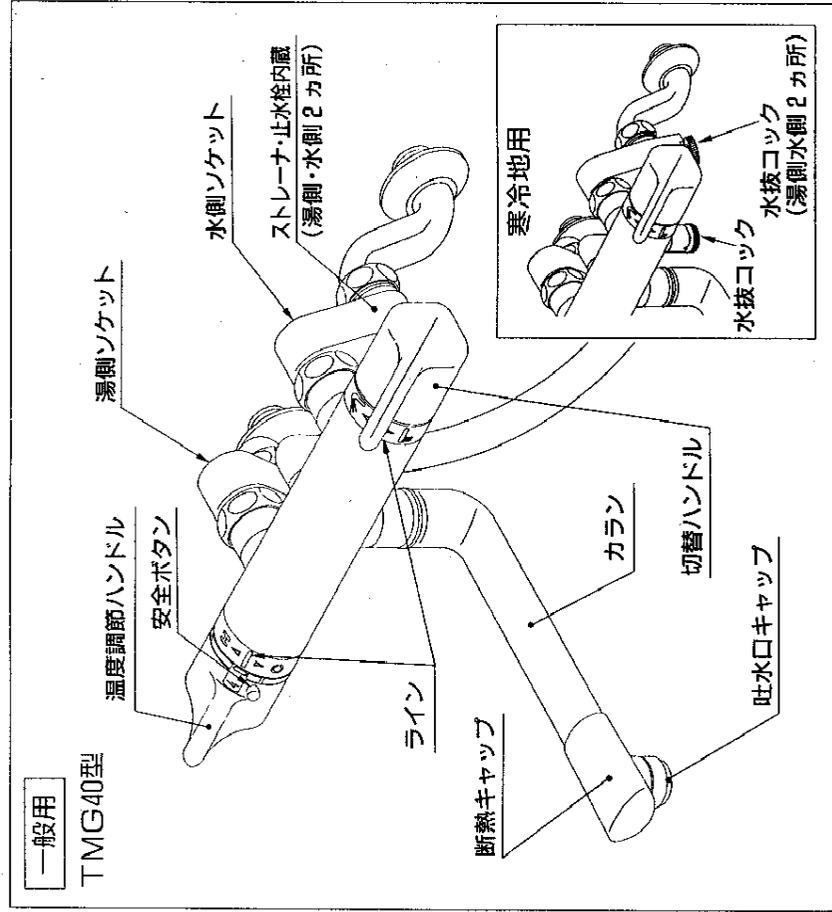


1. サーモスタットの働きで混合水の温度をほぼ一定に自動調整しますので、使用中に給水・給湯圧力が変わってもほとんど温度変化はありません。
2. 温度調節ハンドルの操作ひとつで望みの温度に変えられます。
3. 配管中の砂やごみが機能部に入らないよう、ストレーナを設けています。

※商品によっては図と形状が一部異なることがあります。

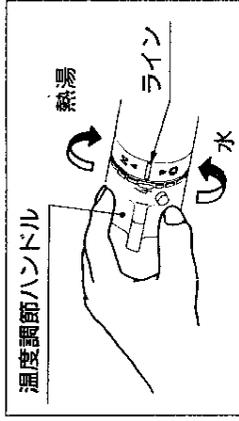


4. 温度調節ハンドルは安全ボタン付ですので、誤って熱湯を出すことはありません。
5. 圧力調整や内部の分解・清掃に便利な止水栓を設けています。
6. 寒冷地用は器具内の水抜きができる水抜コックを設けています。
(寒冷地用の場合)



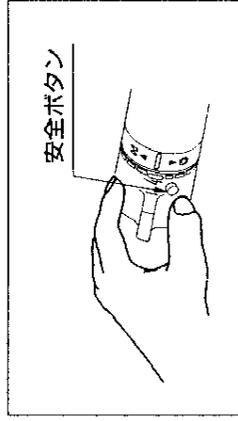
つかいかた

1. 温度調節



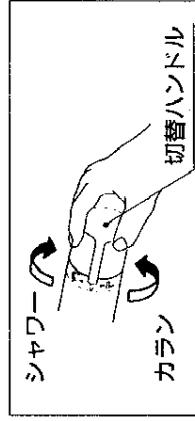
お好みの温度をラインに合わせてください。目盛“40”は目安としてください。

2. 安全ボタン



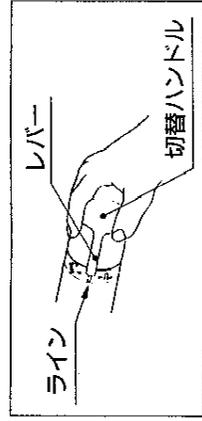
“40”付近でロックされますのでこれより高温で吐水したいときは、安全ボタンを押して回してください。なお、安全ボタンを押して使用したときは、ハンドルを必ず目盛“40”以下に戻しておいてください。

3. 吐水と止水



切替ハンドルを手前へ回すとカラリから吐水し、後ろへ回すとシャワーから吐水します。また、いっぱいに戻すと吐水量が最大になります。

止水



吐水を止めたいときは切替ハンドルのレバーとラインを合わせてください。

凍結予防のしかた

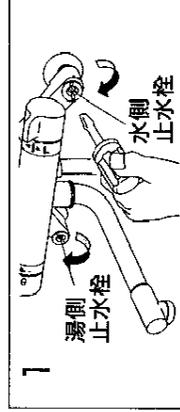
凍結のおそれがある場合は、同梱の「水抜方法」のラベルにしたがって器具内の水抜きを行ってください。なお、ラベルは器具の近くに張付けてください。
(寒冷地用の場合)

手入れのしかた

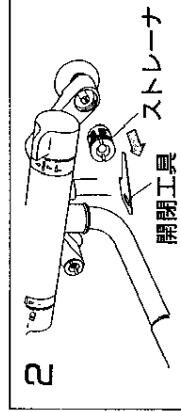


1. ストレーナの掃除

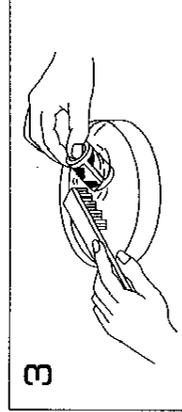
ストレーナが詰まると十分な機能が発揮されなくなりますので次の方法でときどき掃除してください。



マイナストライバーなどで湯側・水側の止水栓を閉めてください。



開閉工具を溝に差し込みストレーナをゆるめて取出してください。



ストレーナの網目に詰まったごみをブラシなどで取除いてください。

故障したときは

故障したときの修理はお取付工事店にご依頼ください。
なお、ご不明な点がございましたらお客様相談室にお問
合わせください。



修理を依頼される前に



簡単な故障はご家庭でも直せますので、修理を依頼され
る前に下表の点検をしてください。

現象	お調べいただくところ
■吐水量が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ●止水栓は全開されていますか。 ●ストレーナにごみはたまっていますか。
■高温しか出ない ■低温しか出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●止水栓は全開されていますか。 ●ストレーナにごみはたまっていますか。 ●温度調節は適当ですか。
■目盛どおりの湯 が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●止水栓は全開されていますか。 ●ストレーナにごみはたまっていますか。 ●温度調節は適当ですか。

※点検方法は「ストレーナの掃除」・「温度調節のしかた」の項を参照ください。

●メモされておくと便利です。

購入年月日	購入店名
年 月 日	電話 ()

製造中止後の補修用性能部品（製品の性能維持に不可欠な部品で使用期間中に取替えの
必要が発生する可能性の大きいもの：パッキン等）の供給期間は10年です。

2. 日常のお手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、次の点に注意してお手入れして
ください。

カーワックスやミネシン油等をつけた
やわらかな布でみがいてください。

注意！

樹脂部に油が付着すると光沢を失うの
で付着しないよう十分注意すること。
粗い粒子を含む洗剤、ナイロンたわし
等は傷つきの原因となりますので、使
用しないでください。

